

地域のみなさまへのご案内

■福祉相談

ハンデをもつ方のご家庭での生活や、福祉に関することで、相談の希望がありましたらご連絡ください。随時対応致します。また、訪問を希望される方については訪問も可能です。当法人のアグネス（相談支援事業）が対応致します。
〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7440-1
TEL 053-414-1662 / FAX 053-414-1663

■短期入所事業「ショートステイ」（宿泊利用）

家庭での養育・介護を受けている障害者（児）の方が、ご家庭の都合で生活の援助が受けられない時に、必要な期間（障害福祉サービス受給者証に記載してある受給量限度の残存日以内）でお預かりします。

■日中一時支援事業（日帰り利用）

在宅の方で日中の生活の援助や、軽作業の場所を施設に希望される方について、登録証（浜松市日中一時支援事業利用決定通知書兼登録証）に記載されている時間内でお預かり致します。ご希望によっては自立促進地域作業所 工房わかぎへの通所も可能です。この他、生活介護 オリーブの樹のご利用の相談もお受けします。

■実習受入（学生・社会人）

現在、専門学校生、短大生、大学生、或いは社会人の方々の実習の受入をしています。将来、知的障害者の仕事に従事する志を持つ方だけでなく広く福祉の仕事に携わる方々への育成の受け皿として実習の受入をしています。

■ボランティア活動

最近ではボランティア活動が一般にも普及してきました。人により、それぞれ条件は違いますが、他者に喜ばれる活動をしたいという気持ちは尊いものです。当施設ではボランティアの皆さんを必要としています。ボランティア活動についてご希望がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



民謡ボランティアの方と



生花教室ボランティアの方と

■支援センターわかぎを支える会

支援センターわかぎ（平成 15 年 4 月に改名、旧若樹学園）の開設当初から経済的にゆとりのない中で、精一杯の取り組みを続けることができたのは、継続して支援して下さった多くの方々がいらっしゃったからです。今後とも、支援センターわかぎの働きのためにご支援をお願い致します。

- ・振替口座名 社会福祉法人小羊学園 支援センターわかぎ
- ・郵便振替口座 00810-4-100742

■生活介護オリーブの樹

種 別 生活介護（通所）
利用定員 27名
事業開始 2006年（平成18年）4月
敷地面積 869.00m²（263.3坪）
建物面積 435.47(131.9㎡)



生活介護オリーブの樹は平成 18 年 4 月から障害者デイサービス事業として開設し、その後平成 18 年 10 月より生活介護の種別の施設として新たな出発をしました。地域の在宅の方の日中活動の受入が期待されています。生活介護事業ではありますが、併設の支援センターわかぎの通所場所である工房わかぎと共に活動して、鉢カバーや木ホルダー等の木工作業、空き缶、ペットボトル等のリサイクル作業、製パン作業、洗濯等の業務委託作業等、利用者にあつた日中活動の提供に努めています。又、利用者への食の提供を大切に考えたいとの思いから、施設内に厨房を備えて自己調理を行い、利用者にごく栄養のある食事を提供しています。

■自立促進地域作業所 工房わかぎ

（建物は生活介護 オリーブの樹を利用）
利用定員 15名（わかぎからの通所）
自立促進地域作業所 工房わかぎは、1995年（H3）11月に現在の浜松市浜北区尾野に開設しました。この建物は支援センターわかぎの利用者の日中活動の拠点として位置付けられ、週日には毎日 15 名がマイクロバスで通う生活を開始しました。現在の工房わかぎは、オリーブの樹の建物と設備をお借りする形へと変化してきました。工房わかぎでの作業は地域の利用者との協力しながら取組む形となっていることから、この拠点が地域の利用者の方々とのふれあいの場所になっており、自主製品（オリーブの樹の作業種参照）の生産を活動の柱としています。平成 10 年及び平成 19 年には自主製品の鉢カバーが静岡県授産振興センター会長賞を受賞し、利用者の大きな励みとなっています。



■ケアホーム ひまわり

利用定員 13名（おまわり暮らし1名）
居室面積 6室（内、生活体験用1室）
敷地面積 336.96m²（102坪）
建物面積 185.04m²（56坪）



2005年（H17）2月に浜松市浜北区平口（支援センターわかぎの北側に隣接）に生活寮ひまわりを設置し、その後グループホームを経て、ケアホームに移行しました。支援センターわかぎで長年の課題であった小舎制からの展開が、ようやく実現したのです。利用者の方々が自ら選び選択する。そのような生活を確立する為に、今後も更に地域での展開を進めていきたいと思ひます。

社会福祉法人小羊学園 支援センターわかぎ

生活介護
オリーブの樹
自立促進地域作業所
工房わかぎ
ケアホーム
ひまわり

主をおそれ、その道を歩む者はみな辛いなり
そは汝おのが手の勤勞をくらうべければなり。
汝の妻は家の奥におりて
多くの実をむすぶ葡萄の樹のごとく、
汝の子らに汝の徳にまどいして、
敬禮の若樹のごとし。
みよ、主をおそれる者はかく辛いを得ん。
（旧約聖書 詩編128）

支援センターわかぎ
〒434-0041 浜松市浜北区平口 5042
TEL 053-587-2614 FAX 053-587-9845
オリーブの樹／工房わかぎ
〒434-0002 浜松市浜北区尾野 462-2
TEL 053-582-3415 FAX 053-582-3425
ひまわり
〒434-0041 浜松市浜北区平口 5042-1799
TEL 053-586-6816

支援センターわかぎ

種別	障害者支援施設(入所・生活介護)
利用定員	40名
事業開始	1978年(昭和53年)4月
敷地面積	7,272.32m ² (2203.70坪)
建物面積	1,829.80m ² (554.48坪)
居室面積	686.40m ² (207.90坪)
管理棟	953.39m ² (289.06坪)
作業棟・倉庫	190.01m ² (57.57坪)



援助の方針

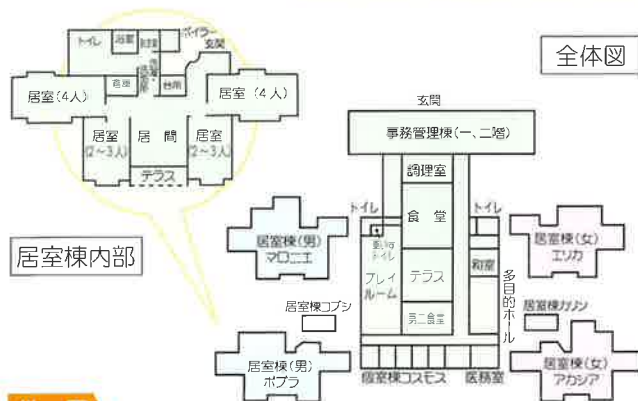
支援センターわかぎでは7つの基本方針にそって、それぞれの個々の生活を援助します

1. 生命の安全が守られるように
2. 心とからだの健康が養われるように
3. 仲間とのふれあいのある生活習慣ができるように
4. できるだけ自分でする生活習慣が身につくように
5. 与えられた課題に取り組む喜びが感じられるように
6. 社会生活に必要な基本的なマナーを習得できるように
7. 趣味や楽しみをもち意欲のある生活が送れるように



支援センターわかぎ平面図

居室棟(小舎制)、事務管理棟、医務室・個室棟



小さなグループでの生活

50名の利用者の方々が、4つの居室棟(小舎制)、2つの別棟と管理棟の5部屋の個室に分散して生活を共にしています。小さなグループを基本にした生活形態は、それぞれの利用者が安心して暮らすことができるように個別の対応を柱に援助を行い、また居室内では洗濯や入浴、余暇等、それぞれのリズムを大切にすることを基本にしています。



住む場所と通う場所のある生活

施設で生活している利用者の方々は、一日の大部分を同じ場所で過ごすことを余儀なくされる傾向にあります。生活を豊かにするためには暮らしの環境を整えることは勿論ですが、積極的に施設の外へ出ることによる気分転換や、そのことによる情緒の安定が期待されます。

そこで、自立促進地域作業所工房わかぎへの通所や、施設外で借用している畑での作業、又、施設外での実習体験を通じて生活に変化をつけ、意欲や生き甲斐のある暮らしを提供します。又、自活訓練事業等の制度を使った、施設外での生活体験を通じて、地域移行への取り組みの促進を図りたいと思います。

個人それぞれの思いに合わせた生活の援助

わかぎでは、利用者の皆さんが個別の外出を体験し、少人数での外出が頻繁にできるように日課の工夫と機会の提供を柱としています。また、外出先での食事や買い物、年間を通しての宿泊を伴った選択肢のある旅行等、できるだけ多くの外出を提供することが望ましいと考えます。その他、絵画・民謡・生花・音楽・さをり織り等、個々の趣味趣向に沿った「趣味の会」の活動もボランティアの方々の協力で行われています。



料理教室

さをり織り

お花見

毎年恒例となりました。わかぎ自慢の桜の木の下で、宴会の準備で張り切る皆さんは満開の桜に見とれてしまいます。今年の桜はいかがですか。



大阪USJ一泊旅行

初めて新幹線に乗った人も、何回も乗ったこともある人も、皆わくわくしながら大阪USJへそれぞれの思いは違うけど楽しい気持ちは一つです。(*^_^*) / ☆☆☆ USJのモニュメントをバックにハイポーズ!



わかぎ夏まつり

ホイキタ浜北輪になって~この季節になると、どこからともなく盆踊りの音楽が流れてきます。利用者の皆さんが心待ちにしている夏祭りです。今日もいっぱい踊れましたか。



クリスマス食事会

一年で一番たのしみをしているクリスマスベニヤルランチです。調理の皆さんが心を込めて作ってくれました。

さて、何から戴きましようか。どれも美味しそうに迷います。



餅つき会の会

最近見かけなくなりましたが、わかぎでは恒例の餅つき会です。まだまだ若い者には負けません! 力を込めて、ベッタン、ベッタン、美味しいお餅が出来上がります。

